



SAP Ariba 

機能の概要

承認を拒否する際にコメントが必須に

Paul Maxwell, SAP Ariba
一般提供予定: 2022 年 8 月

PUBLIC

機能の概要

導入の難易度  ロータッチ/容易
対象エリア  グローバル

説明: 承認を拒否する際にコメントが必須に

今までの課題

申請が拒否された場合に、必要に応じて申請者が以下の処理を行えるように、申請者に対して常に理由を含むフィードバックが返される必要があります。

- 申請を変更する
- 別の方法で品目を入手する

承認者がコメントを追加していない場合、申請者には拒否された理由がわかりません。その結果として、申請が拒否された理由を理解するためにオフラインでの通信が必要になることがよくあります。

SAP Ariba で問題解決

Guided Buying で、申請を拒否する際の承認者のコメント入力が必要になります。

承認者は、[拒否] を選択したあと、[拒否] ボタンを選択する前にコメントを入力する必要があります。

主なメリット

- 申請拒否理由の可視化
- 申請者/承認者間のオフライン通信の削減
- 申請に関するオンラインでの完全な透明性および監査証跡

対象ソリューション

SAP Ariba Buying (Guided Buying 機能あり)

SAP Ariba Buying and Invoicing (Guided Buying 機能あり)

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

前提条件と制限事項

この機能には Guided Buying 機能が必要になります。

この前提条件は、Guided Buying アプリケーションでの承認のみに適用され、電子メールでの承認には適用されません。

機能の概要

説明: 承認を拒否する際にコメントが必須に

機能の詳細情報

1. 購入申請承認画面で、承認者が [拒否] を選択します。
2. [拒否] ボタンは、コメントが追加された後にのみ使用可能になります。

